

東大和市駅周辺まちづくり意見交換会（第3回）

次 第

日時：令和7年11月11日（火）18：30～

場所：南街市民センター（南街公民館）202集会室

1 開会

2 挨拶

3 内容

（1）意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

（2）本日ご意見をいただきたい事項

① 「まちづくり将来像（案）」について

② 「まちづくりの方針・取組（案）」について

（3）まちづくりイベント

（4）意見交換（グループワーク）

4 閉会

東大和市駅周辺 まちづくり意見交換会（第3回）



令和7年11月11日（火）

南街市民センター（南街公民館） 202集会室

東大和市 まちづくり部 都市づくり課

◆ 本日の内容

- (1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り
- (2) 本日も意見をいただきたい事項
 - ① 「まちの将来像（案）」について
 - ② 「まちづくりの方針・取組（案）」について
- (3) まちづくりイベント
- (4) 意見交換（グループワーク）

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<意見交換会の趣旨・進め方>

<目的>

東大和市駅周辺のまちづくりに関して、市と地域の皆様に意見交換を行い、まちの将来像及び実現に向けたロードマップの検討を行うことを目的としています。

<参加者>

市内に在住・在勤・在学している方
東大和市のまちづくりに意欲がある方

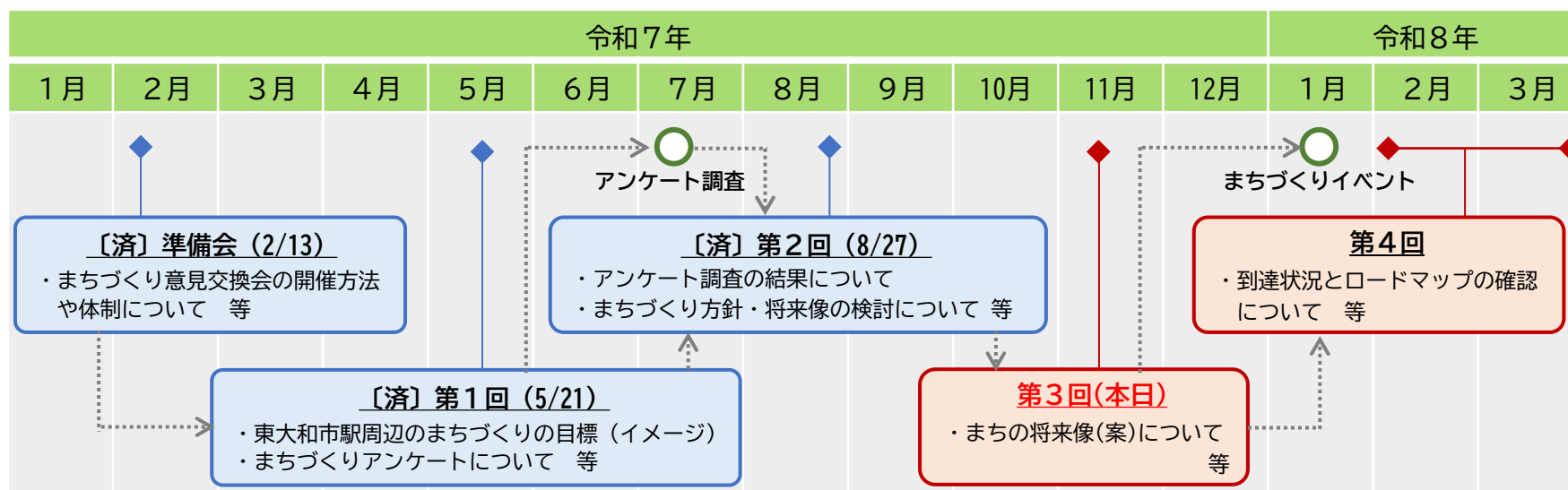
<場所>

向原市民センター 又は 南街市民センター
※会場の都合により変更となる場合があります。

<開催曜日、時間>

当面は平日の夜間の開催とします。
※状況に応じて、柔軟に対応・調整します。

<意見交換会等のスケジュール>



※スケジュールは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<前回（第2回）の開催結果の概要>

◇ 概要

日 時：令和7年8月27日（水）午後6時30分～午後8時

場 所：南街市民センター 202集会室

参加人数：参加者 15名

◇ 市からの説明

- <テーマ>
- ・意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り
 - ・まちづくりアンケート調査の結果について
 - ・まちづくり方針・将来像の検討について

◇ 意見交換（グループワーク） ※4つのグループに分かれて実施

- <テーマ>
- ・まちづくりアンケート調査の結果についてのご意見
 - ・まちづくり方針・将来像についてのご意見



グループワークの様子



グループの発表の様子

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<主なご意見>

まちづくり方針・将来像の検討について	主なご意見
【テーマ①】 駅周辺のまちの将来像について	・社会実験などの取り組みなどを積み重ね、将来の方向性を見出す ・まちのコンセプトやスケジュールを明確化し、ハード・ソフト両面の取組を段階的に推進 ・ゼロベースの発想から独自性や特色を前面に打ち出して市の魅力を発信 ・“まちの顔”としての風格を備え、誰もが気軽に立ち寄り、集える駅前空間 ・子どもが安心して遊べる“緑と憩い”の駅前空間 ・文化と交流が育ち、世代を超えて人々がつながるまち ・スポーツ施設が充実していることを活かした、若者が訪れる活気あるまち ・学びを支え、若者の定着を促進する教育のまち ・災害に強く、安全・安心に過ごせるまち
【テーマ②】 まちづくり方針について	〔駅前空間の改善〕ベンチ・ひさし・ミストの設置、色彩豊かな花の植栽、石畳舗装、駅舎の塗替え、ロータリーの広場化（社会実験）など 〔道路環境の改善〕無電柱化、ゆとりある歩道の整備 〔公共・民間施設の配置〕イベント広場、学習・交流空間、図書館、行政サービス施設、ホテルなど 〔店舗・サービスの充実〕夜間も営業している店舗、ファミリー向け飲食店、ペット同伴可カフェなど 〔回遊性の向上〕道路等の活用による回遊ルート形成 〔交流・にぎわい創出〕アニメ・ゲーム・音楽などのコンテンツ活用、地域主体のイベント推進 〔土地利用・資源活用〕狭小建物の建替促進、駅前の土地の有効活用、鉄道会社との連携 〔経済・地域活性化〕起業家精神の育成・支援、空き店舗対策 〔都市基盤整備〕都市計画道路の整備推進、用途地域の変更

(2) 本日ご意見をいただきたい事項

①「まちの将来像(案)」について

②「まちづくり方針・取組(案)」について

①「まちの将来像(案)」について

○「意見交換会」および「まちづくりアンケート」で寄せられた、東大和市駅周辺のまちづくりに関するご意見を、テーマ別に整理しました。



創る



- ・駅前空間や鉄道高架下の活用
- ・個性あふれる店舗が集うまちの形成
- ・快適に歩ける環境を実現する施設整備
- ・まちの顔に相応しい景観形成
- ・目指す方向性を見出す社会実験の実施

暮らし



- ・買い物や飲食、行政サービスなどの生活機能の充実
- ・円滑な交通を支える道路整備
- ・便利で使いやすい駅前広場への再編
- ・災害に強いまちづくりの推進

交流



- ・まちの回遊性の向上
- ・世代を超えた交流の場づくり
- ・地域主体のイベント開催の促進
- ・気軽に立ち寄れる市民の居場所づくり
- ・空き家・店舗の活用による地域交流

遊び



- ・誰もが遊べる遊び場づくり
- ・駅前イベントスペースや広場での多様なレジャー・体験活動の創出
- ・遊びを通じた地域の賑わいづくり
- ・ペットと過ごせる環境づくり

文化・芸術・音楽



- ・気軽に楽しめる飲食店の充実などによる食文化の育み
- ・音楽イベント・アニメ・ゲームなどコンテンツを活用した魅力づくり
- ・芸術や文化を発信する駅前空間の創出

子育て・教育



- ・子どもが安全に遊べる空間づくり
- ・子育てがしやすいまちの実現
- ・子どもの教育環境の充実
- ・知識・学びを支える環境づくり
- ・起業家精神の育成・支援

スポーツ・運動



- ・駅前のスポーツ施設を活用した、若者を呼び込むまちづくり
- ・散歩を楽しめるまちづくり
- ・東大和元気ゆうゆう体操ができる広場など健康づくりの場の創出

環境・自然



- ・緑と憩いに溢れ歩いて楽しいまちの形成
- ・花が咲き彩りのあるまちの創出
- ・自然環境と調和・共生するまちづくりの推進
- ・狭山緑地等へのアクセス性向上

①「まちの将来像(案)」について

○ 意見交換会やアンケート、現況や課題の整理を踏まえ、“まなび”という視点を重視して、まちの将来像を検討しました。

<まちの将来像(案)>

(仮称) 東京まなびまち

“まなび”が世代をつなぎ、まちの未来を育むショーケース



“まなび”を支える基盤として、歩行者中心の空間を形成

「東京まなびまち」とは

東大和市駅周辺は、地域に根ざした活動や出会いを通じて人が成長し合う“まなび”のまちをめざします。

(“まなび”とは、一般的な勉強する、習得するという意味のほか、経験する、見たこと聞いたことを人と語るなどの意味も含む言葉として、あえてひらがなで表記しています。)

このエリアには、「交流」「子育て・教育」「創る」「遊び」「スポーツ・運動」「暮らし」「文化・芸術・音楽」「環境・自然」など、“まなび”につながる多彩な要素が息づいています。

これら既に存在する資質を伸ばし、様々な活動を体験できる場を広げ、歩行者中心の空間設計による回遊性とにぎわいの場を創造することで、“まなび”のショーケースとなるまちを形成します。

さらに自然豊かな環境を生かし、都心や立川では得難い体験を提供することで、各々と共存する生活圏を育みます。

変わりゆく社会や生活環境に対応するため、市民・事業者・行政が試行錯誤を重ねながら共創し、新しい都市文化を芽吹かせる「“まなび”の拠点」を築いていきます。

①「まちの将来像(案)」について

○ 「東京まなびまち」以外にも、いくつかのアイデアを考えました。参考としてご覧ください。

<まちの将来像(案)：その他のアイデア>

※画像はイメージです

東大和プレイシティ

～ 遊びと学びが交わる都市拠点 ～

公共空間や高架下、スポーツ施設や子どもの遊び場、周辺の自然など、まちが持つ資源を活かしながら、体験・学び・交流を育む「エデュテイメント・シティ(遊び×学び)」を目指します。



STATION CROSSING

～ マチとヒト交わる～

人・機能・交通が交わり、共創からにぎわいと安心、そして新たなアイデアや挑戦が生まれる。未来のまちを育み、新たな価値を創造する交差点「CROSSING」を築きます。



Share-Town

～ 東大和でつくる、パブリックライフ ～

ひらかれた駅前空間を通して、人と人、暮らしとまちがつながります。市民みんなで公共性を育みながら、次の時代へとつながるまちの未来をともにつくっていきます。



①「まちの将来像(案)」について

将来像を“東京まなびまち”
と仮定して記載しています

- 多様な“まなび”のポテンシャルを引き出しながら、それを支える基盤として、誰もが快適に行き来でき、安心して過ごせる開かれたまちの実現を目指し、5つの視点からまちづくりの目標を定めます。

東大和市駅周辺のまちづくりの5つの視点

まちづくりの目標



【視点1】住民の生活を支えるサービスが充実している
子育て世代に必要な都市機能、アクティブシニアが趣味で集まる場、生涯学習に資するサービスなどが、いつも使う駅前に集積



I にぎわいや交流を創出する
都市機能が集まっている



【視点2】用事がなくても立ち寄りたくなる
特に目的がなくても、何気なく駅前まで散歩したくなる、駅前で何かやっていると期待して、ふらっと立ち寄りたくなる場



II 歩きたくなる・立ち寄りたくなる
場所が充実している



【視点3】ストレスレスで駅へ行き来できる
東大和市駅と市内各所との往来にストレスがなく、都心（中枢広域拠点）や立川（中核的な拠点）へのアクセスがしやすい



III 高い交通利便性とアクセス性が
備えられている



【視点4】災害時でも速やかに日常へ復帰できる
大きな災害が起きても被害が拡大・長期化しない、速やかに日常の状態へ復帰する、安心して暮らし続けられる環境



IV 災害に強く、安心して暮らせる
環境が備えられている



【視点5】まちの未来を描く実験と挑戦が繰り返される
市民・事業者・行政が共に考え、創る、小さな取組を重ねながら学び合う仕掛け

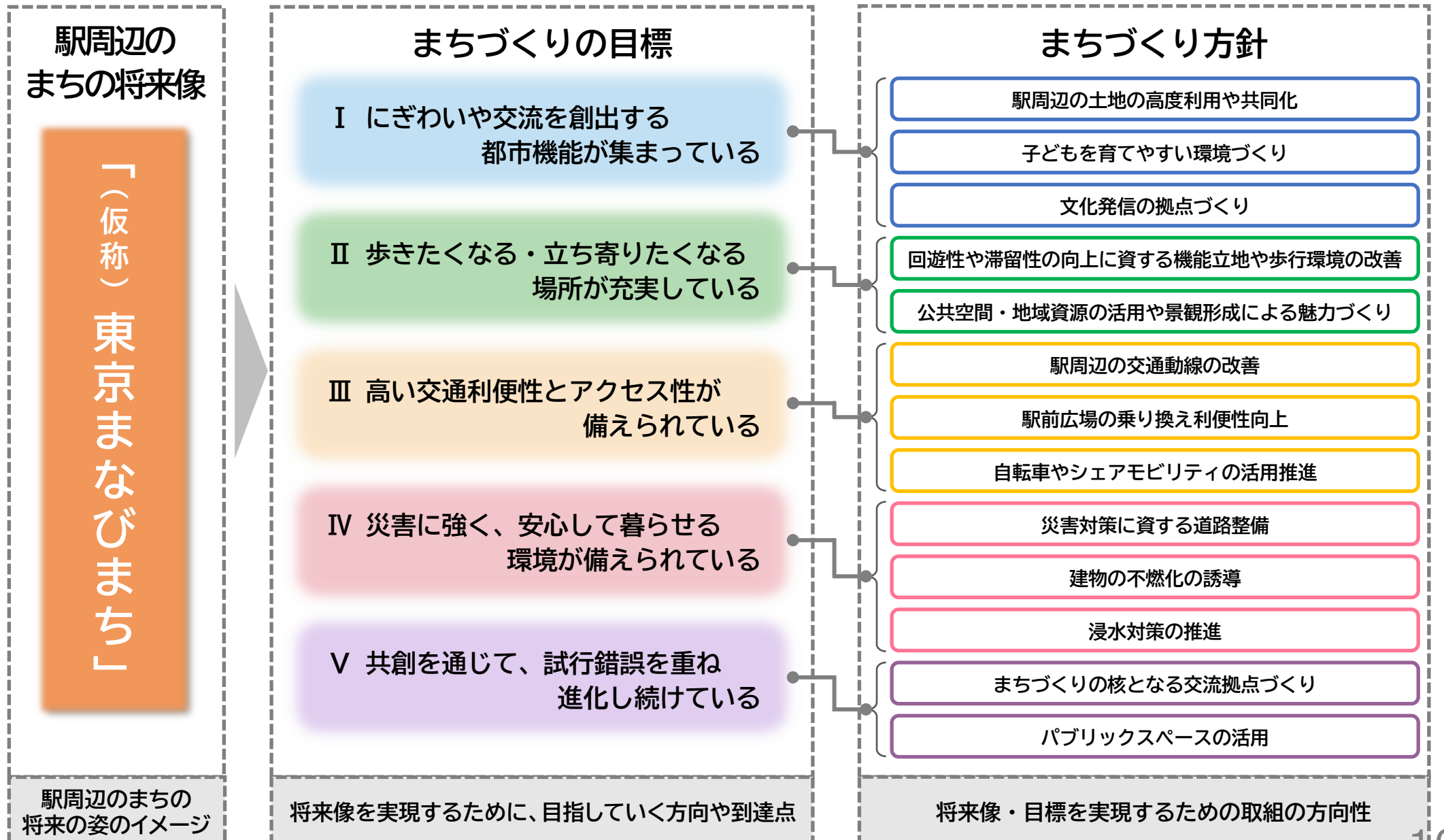


V 共創を通じて、試行錯誤を重ね
進化し続けている

②「まちづくり方針・取組(案)」について

将来像を“東京まなびまち”
と仮定して記載しています

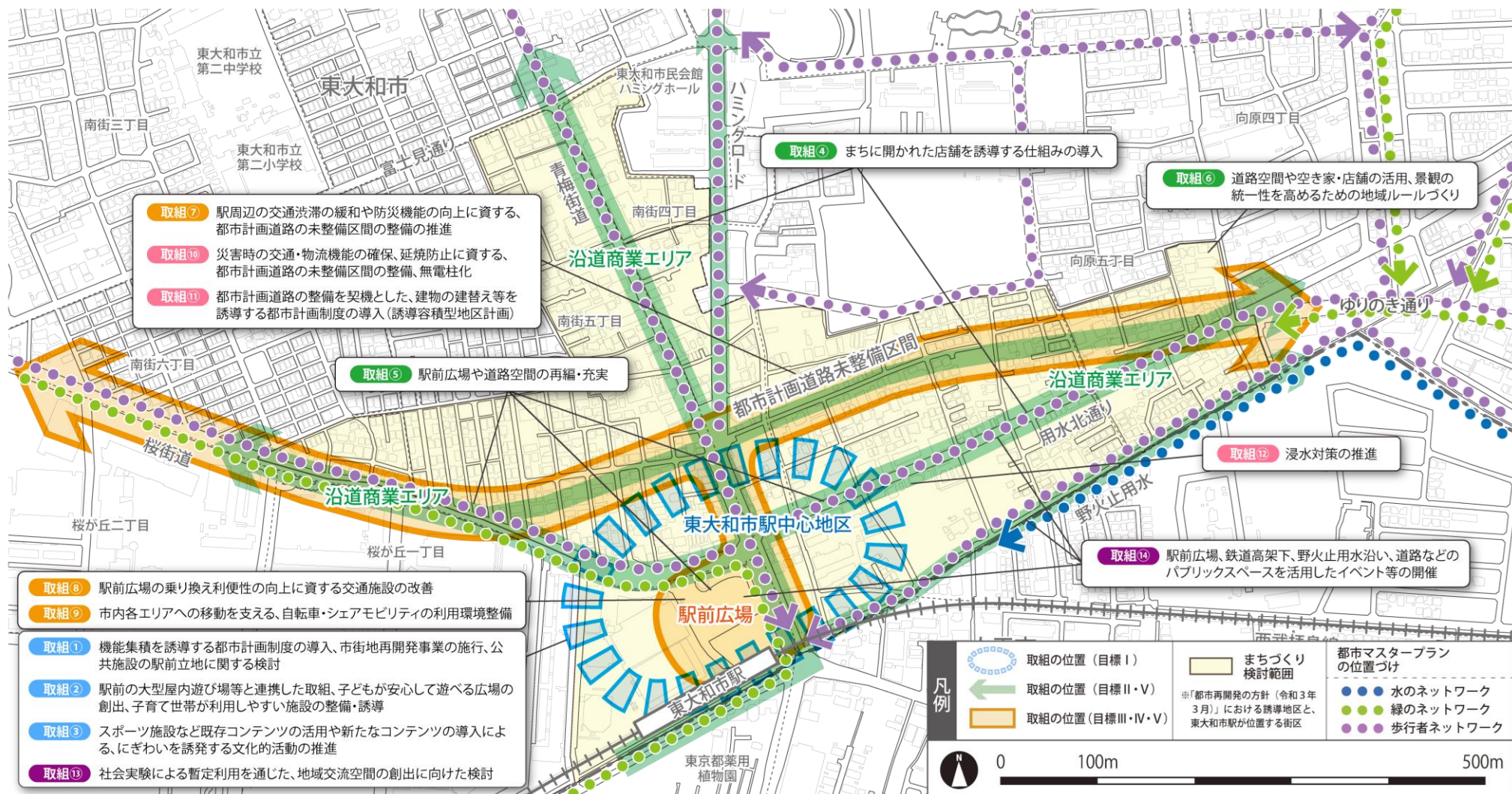
○ まちの将来像・まちづくりの目標と、そこから導かれるまちづくり方針について、下記のとおり整理しました。



②「まちづくり方針・取組(案)」について

<まちづくりの方針図>

<目標Ⅰ> にぎわいや交流を創出する都市機能が集まっている 方針Ⅰ-1. 駅周辺の土地の高度利用や共同化〔取組①〕 方針Ⅰ-2. 子どもを育てやすい環境づくり〔取組②〕 方針Ⅰ-3. 文化発信の拠点づくり〔取組③〕	<目標Ⅱ> 歩きたくない・立ち寄りたくない場所が充実している 方針Ⅱ-1. 回遊性や滞留性の向上に資する機能立地や歩行環境の改善〔取組④、⑤〕 方針Ⅱ-2. 公共空間・地域資源の活用や景観形成による魅力づくり〔取組⑥〕	<目標Ⅲ> 高い交通利便性とアクセス性が備えられている 方針Ⅲ-1. 駅周辺の交通動線の改善〔取組⑦〕 方針Ⅲ-2. 駅前広場の乗り換え利便性向上〔取組⑧〕 方針Ⅲ-3. 自転車やシェアモビリティの活用推進〔取組⑨〕	<目標Ⅳ> 災害に強く、安心して暮らせる環境が備えられている 方針Ⅳ-1. 災害対策に資する道路整備、無電柱化〔取組⑩〕 方針Ⅳ-2. 建物の不燃化の誘導〔取組⑪〕 方針Ⅳ-3. 浸水対策の推進〔取組⑫〕	<目標Ⅴ> 共創を通じて、試行錯誤を重ね進化し続けている 方針Ⅴ-1. まちづくりの核となる交流拠点づくり〔取組⑬〕 方針Ⅴ-2. パブリックスペースの活用〔取組⑭〕
---	--	--	--	--



②「まちづくり方針・取組(案)」について

「東大和市駅中心地区」および「駅前広場」の方針・取組(案)

※取組は、行政・市民・民間事業者が力を合わせて推進します

駅周辺の土地の高度利用や共同化

<取組>

- 商業・宿泊・高規格な住まいなど多様な都市機能の整備を促すとともに、土地の集約や道路・広場整備、建物の更新・共同建替えを誘導し、駅周辺の高度利用を図る。



参考イメージ：駅前の商業施設「nonowa 国立SOUTH」(国立駅南口)

(当初)



(将来)



参考イメージ：建物・道路等の一体的な更新を誘導(ひばりヶ丘駅北口)

浸水対策の推進

<取組>

- 「空堀川上流雨水幹線整備事業」を推進する。



駅前広場の乗り換え利便性向上

<取組>

- 駅とバス・タクシー乗降場を結ぶ通路への屋根の設置や、自家用車の送迎用駐車スペースの整備を行う。



参考イメージ：通路の屋根(新所原駅北口駅前広場)

自転車やシェアモビリティの活用推進

<取組>

- 市内各所への移動を支える、自転車の走行・駐輪環境の整備や、シェアモビリティ(シェアサイクルなど)のポート整備を促進する。



参考イメージ：南街四丁目シェアサイクルポート

子どもを育てやすい環境づくり

<取組>

- 子どもが安心して遊べる環境や、子育て世帯が利用しやすい施設の整備・誘導を図る。



参考イメージ：親子が安心して過ごせる「八戸まちなか広場」(八戸市)

文化発信の拠点づくり

<取組>

- 既存のスポーツ施設などを活かし、新しいイベントや文化活動を取り入れて、まちににぎわいを生み出す。



参考イメージ：小学生アイススケート教室(BIG BOX 東大和)

まちづくりの核となる交流拠点づくり

<取組>

- 社会実験による暫定利用を通じて、芝生広場や仮設コンテナなどを活用した地域交流空間の創出に向けた検討を行う。



参考イメージ：若者クリエイティブコンテナ(宇部市)

②「まちづくり方針・取組(案)」について

「まちづくり検討範囲」および「沿道商業エリア」の方針・取組(案)

回遊性や滞留性の向上に資する機能立地 や歩行環境の改善

<取組>

- ・駅前広場や道路をより使いやすく整え、歩行者が安心して通れる空間づくりや、バリアフリー化を進める。

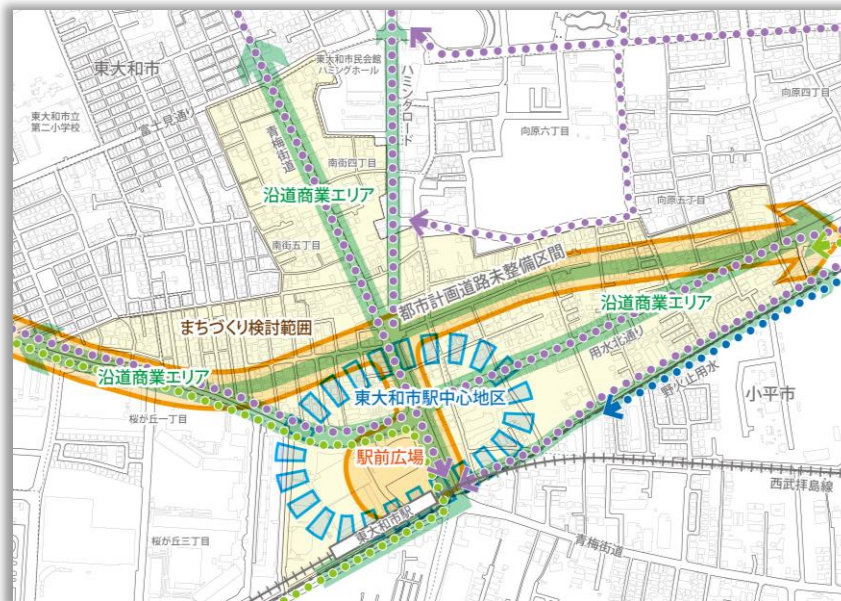


参考イメージ：拡幅や舗装の高質化により、歩きやすく快適に利用できるようになった歩道（大阪市 御堂筋）

- ・沿道商業エリアに、まちに開かれた店舗（建物1階沿道部分がガラス張りの路面店等）を誘導する。



参考イメージ：1階沿道部分がまちに開かれた店舗（松山市 花園町通り）



公共空間・地域資源の活用や景観形成による魅力づくり

<取組>

- ・道路空間や空き家・店舗の活用を促進するとともに、景観の統一性を高めるため、植栽等に関する地域ルールの方針を検討する。

参考イメージ：戸建て住宅を改修して設けられた、「食」を中心としたパブリックモンスペース「okatte にしおぎ」（杉並区宮前5丁目）



駅周辺の交通動線の改善

災害対策に資する道路整備、無電柱化

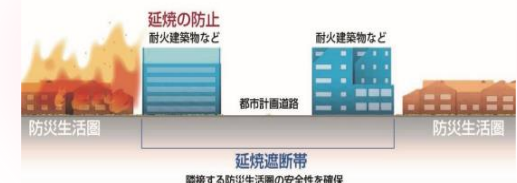
<取組>

- ・駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

建物の不燃化の誘導

<取組>

- ・都市計画道路の整備と合わせて、沿道の建物の建替え等を誘導する。



参考イメージ：都市計画道路の整備による市街地の防災性向上のイメージ

パブリックスペースの活用

<取組>

- ・駅前広場、鉄道高架下、野火止用水沿い、道路などのパブリックスペースを活用したイベント等の開催を推進する。

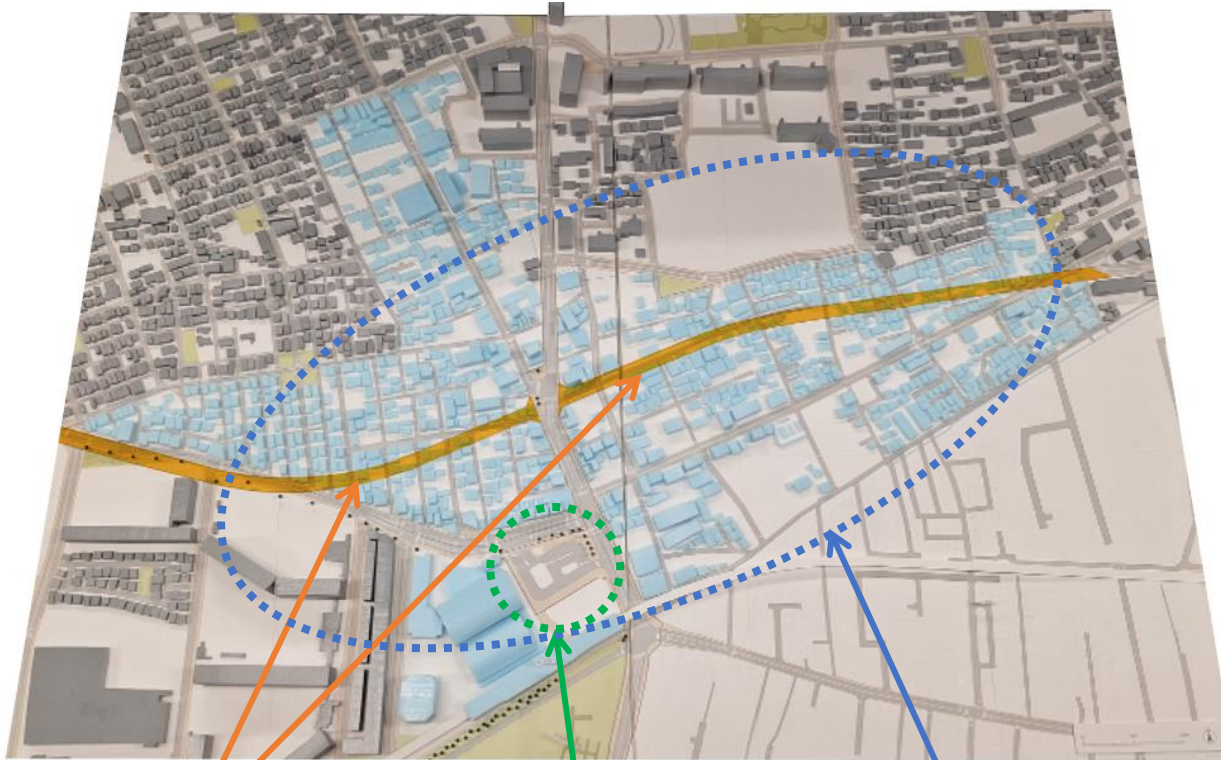


参考イメージ：高架下の夜市（東大和市駅）

②「まちづくり方針・取組(案)」について

○「まちづくり方針・取組(案)」をもとに、将来の都市計画道路の整備、駅前広場のリニューアル、建物の共同化などの仮のイメージを反映した模型を作成します。

<作成予定の模型内容（背景画像は昨年度作成の現況模型）>



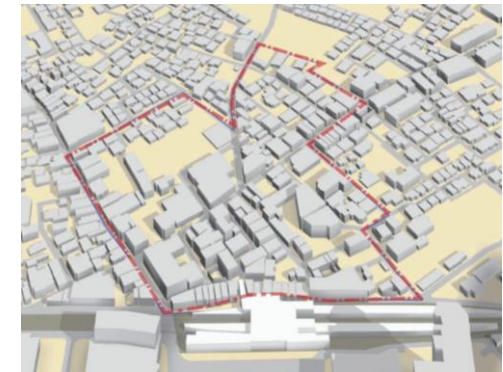
都市計画道路の
整備後のイメージを反映

駅前広場の屋根付き通路・
芝生広場化・仮設コンテナ
設置のイメージ等を反映

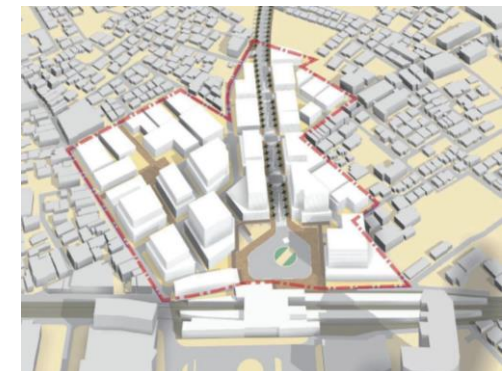
駅付近や都市計画道路沿いの、建物の共同化イメージを反映

(参考)将来の道路整備や建物の共同化を想定した
イメージパース(ひばりヶ丘駅北口の例)

(現況)



(将来)



(3) まちづくりイベント

- 令和8年1月頃に、「まちの将来像（案）」や「まちづくり方針・取組（案）」をご紹介するイベントを、駅前で開催予定です。

<まちづくりイベントの概要>

◆パネル・模型展示

- ・「まちの将来像（案）」および「まちづくり方針・取組（案）」を、大型パネルや模型によりご紹介します。

◆意見収集コーナー

- ・付せんやカードに意見を書いて貼っていただく、「みんなの声ボード」を設置します。

参考イメージ：自由が丘で開催されたイベントの様子



参考

- ・ 令和7年1月にも、駅周辺のまちづくり開始を周知するために、イベントを実施しています。

※イベントの内容・結果は、
市公式HP(右のQRコード)からご覧いただけます。→



昨年度のイベントの様子・展示パネル



◆ 本日の内容

- (1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り
- (2) 本日も意見をいただきたい事項
 - ① 「まちの将来像（案）」について
 - ② 「まちづくりの方針・取組（案）」について
- (3) まちづくりイベント
- (4) 意見交換（グループワーク）

(4) 意見交換（グループワーク）

○この意見交換会は、東大和市駅周辺のまちづくりについて、市が情報をお伝えしながら、地域の皆様と一緒に将来のアイデアや意見を出し合うことで、今後のまちづくりを進めていくための第一歩とすることを目的に開催しています。



意見交換にご参加いただく皆さまへ

- ◆この会は、自由にアイデアや意見を共有し合うことを目的とした場です。最終的な結論や合意を得ることを目的とはしていません。
- ◆お互いの意見を尊重しましょう。他の方の発言は最後まで聞き、途中で遮らないようご配慮をお願いします。感情的な発言は避け、穏やかに話し合いましょう。
- ◆限られた時間の中で多くの方にご発言いただけるよう、お一人おひとりの発言はできるだけ簡潔におまとめいただけますようお願いいたします。
- ◆どうぞ遠慮なさらず、感じたことや考えをお話してください。さまざまな視点を歓迎し、誰もが安心して話せる場を、みなさんと一緒に作っていきたいと考えています。

(4) 意見交換（グループワーク）

～ グループワークの進め方 ～

① 自己紹介 [1分程度]

② 「まちの将来像(案)」について [10分程度]

③ 「まちづくり方針・取組(案)」について [15分程度]

④ まとめ [4分程度]

⑤ 発表 [各グループ5分程度]

(4) 意見交換（グループワーク）

<付せんにご記入いただきたい内容>

①「まちの将来像（案）」について（本資料6～8頁）

- ・ご提示した「まちの将来像(案)」の中で、あなたの**“イメージと合っている部分”**はありましたか？ 合っていると感じた場合、どの点に共感されましたか？
- ・**“イメージと違う”**と感じた場合は、どのような要素や視点が不足していると思いますか。
- ・あなたが思う**“理想的な将来像”**があれば、お聞かせください。

②「まちづくり方針・取組（案）」について（本資料9～14頁）

- ・ご提示した「まちづくり方針・取組(案)」の中で、**“共感できる点”**はありましたか？あったと感じた場合、どの点に共感されましたか？
- ・**“変えた方がよいと思う点”**や、**“追加した方がよいと思う内容”**があればお聞かせください。
- ・その他、模型づくりなどに関して、ご意見がございましたらお聞かせください。

※ご記入のお願い

- ・1枚の付せんに、1つのご意見をご記入ください。何枚でもご記入いただけます。
- ・できるだけ具体的に、「こうなるとよい」「こう感じた」など、ご意見をお聞かせください。